

372

247

朝鮮京城文廟釋奠志

孔子祭典



始









朝鮮京城文廟釋奠志

孔子祭典會



目次

緒言及び餘白録二條……………

第一 文廟釋奠儀式次第……………

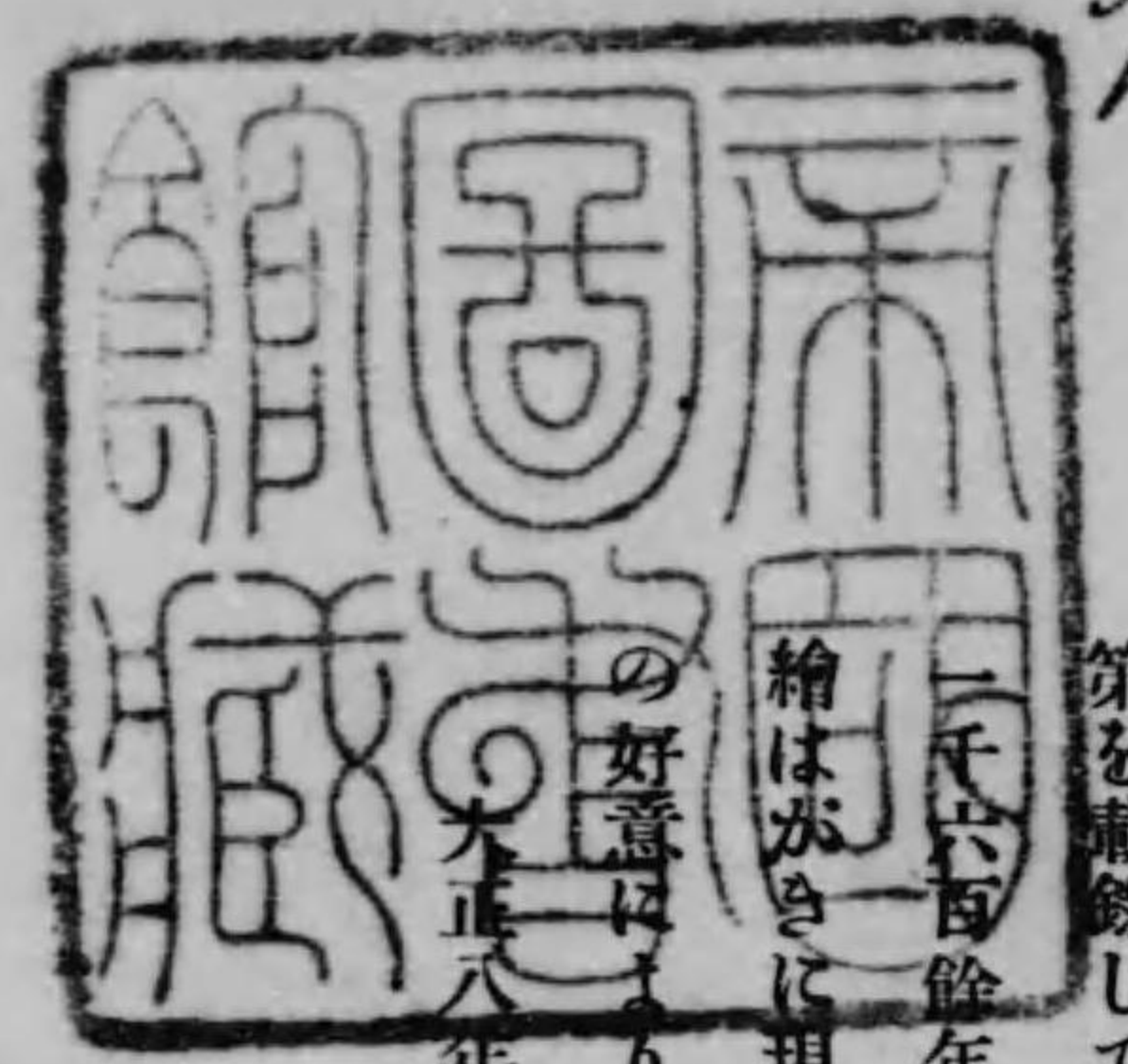
第二 朝鮮經學院ノ沿革……………

緒言

朝鮮京城の文廟につきては、明治四十四年舉行の本會第五回祭典紀念品現存文廟の第十に其實景及び解説の概要を載せたり。今回更に本年二月同文廟に於て舉行せられたる釋奠儀式次第を載録して以て本會第十三回祭典の紀念品とす。亦以て朝鮮より論語千字文を貢献したる二十六年餘年前の昔を回顧し、王仁來舶の功勞を追思するに足るべし。本文次第書及び別紙繪はがきに現はるゝ所の寫眞は朝鮮總督府學務局長關屋貞三郎君、同府編輯課長小田省吾君の好意により同府より送致せられたるものなり。

大正八年三月二十五日

孔子祭典會委員 中村久四郎



百濟王獻經典圖

小野湖山

貢使遙々渡海雲。百神呵叱護斯文。聖人書即聖皇意。休說東西彼此分。〔湖山樓詩鈔卷一〕

渡唐天神即王仁の誤

加藤宜樹

(上略)此歌は本朝物讀の始り、文字を傳へし開基の王仁が歌なれば手習始めに習ひよむ事其理あり。仍て手習子は此王仁が此歌を詠て仁德天皇へ奉りたる時の姿を繪に書て祭る事なり。世に渡唐の天神とてはヤナ像は王仁が梅の花を折て此

大正  
8. 5. 8  
内交

372-247



歌を詠じて帝へ奉りたる時のすがたなり。

俗説に菅承相夢に唐土へ渡り給ひ、好文木と云梅の花を御約束なされてもらはせられし時の御すがたなりと云て渡唐の天神ともてはやせども、彼の像を見るに冠靴に至るまで悉く唐人装束なり。菅神は本朝にしてしかも學徳高才の人ゆゑ遺唐使をさへ御止めなされてしかるべし。異國の夷に腰を折て使をはせ幣を送る事は、神國にあるまじき事なりと奏聞ありしほどの御人なれば渡唐の如き忌しき唐装束をめざるべきやうもなし。〔南窓筆記卷一、寺子天神を祭る事の條〕

(本文此歌といふは難波津の歌なり)



## 朝鮮京城文廟釋奠儀式次第

### 〔甲〕陳設

廟司、殿内ニ入りテ左ノ通陳設ス

祝版ヲ大聖孔子神位ノ右ナル拵ノ上ニ奠ム

幣篋各一個ヲ樽所ニ置ク

香盆、香爐及燭ヲ各神位ノ前ニ設ケ次ニ祭器ヲ陳設ス

乙着席

獻官以下各位左ノ順序ニ依リ着席ス

執禮拜位ニ就キ四拜シ了リテ位ニ就ク

典樂五人ト二舞ヲ帥ヒ入りテ位ニ就ク

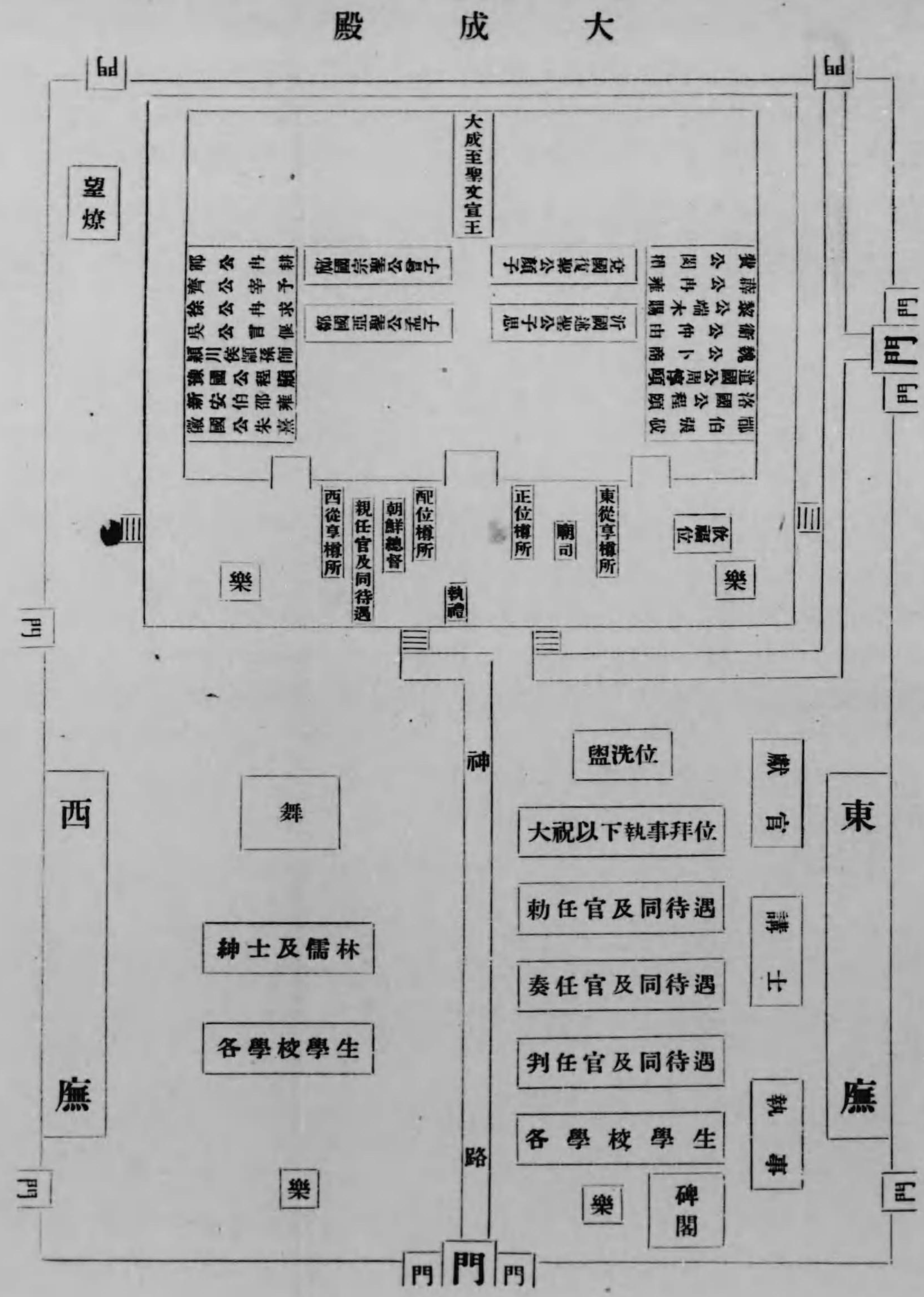
參拜人入りテ位ニ就ク○大祝以下諸執事拜位ニ就キ四拜シタル後手ヲ洗ヒテ位ニ就ク○講士入り

テ位ニ就ク○獻官入りテ位ニ就ク○總督諸員ヲ帥キ入りテ位ニ就ク○

### 〔丙〕式ヲ行フ

(一)掌樂麾ヲ舉ケ工ヲシテ祝ヲ鼓セシム○軒架ニ於テ凝安之樂ヲ作シ烈文之舞ヲ作ス○樂ニヒ成





○式場略圖

ル○

(一)四拜

獻官以下在位者一同四拜ス○樂三ヒ成ル○樂止ム○

(二)奠幣禮ヲ行フ

初獻官手ヲ洗ヒ大聖孔子神位前ニ詣リテ跪坐ス○登歌ニ於テ明安之樂ヲ作シ烈文之舞ヲ作ス○獻官三ヒ香ヲ上ク○獻官幣ヲ奠ム○獻官配位神位前ニ詣リテ幣ヲ奠ム○樂止ム○獻官降リテ位ニ復ス○

(三)奠幣禮ヲ行フ

初獻官大聖孔子神位前ニ詣リテ立ツ○登歌ニ於テ成安之樂ヲ作シ烈文之舞ヲ作ス○執樽、醴齊ヲ酌ミ執事之ヲ爵ニ受ク○獻官神位前ニ詣リテ跪坐ス○執事爵ヲ獻官ニ授ケ獻官之ヲ神前ニ獻ス○獻官少シク退キテ跪坐ス○樂止ム○大祝神位ノ右ニ進ミ跪坐シテ祝文ヲ讀ム○樂ヲ作ス○獻官與キテ平身ス○樂止ム○獻官配位神位前ニ詣リテ立ツ○樂ヲ作ス○執樽醴齊ヲ酌ミ執事之ヲ爵ニ受ク○獻官配位神位前ニ詣リテ上ノ如ク禮ヲ行フ○樂止ム○獻官降リテ位ニ復ス○文舞退キ武舞進ム○軒架ニ於テ舒安之樂ヲ作ス○樂止ム○

(四)初獻禮ヲ行フ

(五)亞獻禮ヲ行フ



亞獻官手ヲ洗ヒ大聖孔子樽所ニ詣リテ立ツ○軒架ニ於テ成安之樂ヲ作ス○執樽盞齊ヲ酌ミ執事之ヲ爵ニ受ク○獻官神位前ニ詣リテ跪坐ス○執事爵ヲ獻官ニ授ケ獻官之ヲ神前ニ獻ス○獻官興キテ平身ス○獻官配位樽所ニ詣リテ立ツ○獻官配位神位前ニ詣リテ上ノ如ク禮ヲ行フ○樂止ム○獻官降リテ位ニ復ス○

(六)終獻禮ヲ行フ

終獻官手ヲ洗ヒ亞獻ノ如ク禮ヲ行フ(清酒ヲ用フ)  
分獻官手ヲ洗ヒ從享位ノ樽所ニ詣リテ立ツ○執樽酒ヲ酌ミ執事之ヲ爵ニ受ク○分獻官從享位神前ニ詣リテ跪坐ス○分獻官三ヒ香ヲ上ク○執事爵ヲ分獻官ニ授ケ分獻官之ヲ神前ニ獻ス○分獻官降リテ位ニ復ス○

(七)飲福禮ヲ行フ

初獻官飲福位ニ詣リテ跪坐ス○大祝獻官ノ左ニ進ミテ爵ヲ受ク○獻官爵ヲ受ケテ飲ム○大祝俎ヲ獻官ニ授ク○獻官俎ヲ受ケ執事ニ授ク○執事俎ヲ受ケテ出ツ○獻宿降リテ位ニ復ス○

(八)添香禮ヲ行フ

順序別紙ノ如シ

(九)四拜







添香禮 (添香)

(一) 執事ノ案内ニ依リ

大聖孔子神位香卓ノ前ニ進ミテ鞠躬(敬禮)シ香ヲ三タヒ上ケタル後少シク退キテ再ヒ鞠躬シ元ノ位ニ復スヘシ

(一) 添香順序左ノ如シ

- 一、朝鮮總督(又ハ代理)
- 二、親任官及同待遇者
- 三、勅任官及同待遇者
- 四、奏任官及同待遇者
- 五、經學院講士(地方順ニ依ル)
- 六、一般參拜人代表者(初獻官ノ許ヲ承クヘシ)

次第書ノ説明

(一) 神位ノ部

正位 孔子ノ神位ナリ大殿トモ云フ  
 配位 正位ノ前ナル四聖(顔子、曾子、子思、孟子)ノ神位ナリ

從 享 孔子ノ弟子哲人十人、賢人六人ヲ祭リタル神位ニシテ正位ノ左右ニアリ依テ東從享西從享ト稱ス(神位別紙圖(面參照)尙コノ外ニ東廡、西廡アリテ漢唐宋ヨリ朝鮮ニ至ル碩儒ヲ祀レドモ祭祀ヲ行ハス

(二) 儀式祭器ノ部

三獻禮 酒ヲ獻ジ、燒香、拜禮等ノ禮ヲ三度ナスノ意ニシテ其初ナルヲ初獻禮、二度目ナルヲ亞獻禮、三度目ナルヲ終獻禮ト云フ、此ノ三獻禮ハ正位ト配位ニシテ東西從享ニハ一獻トス

奠幣禮 正位ナル孔子ノ神位及配位ナル四聖ノ神位ニ幣帛ヲ獻スルノ禮ナリ

幣 筐 右幣帛ノ布ヲ入レタル籠ナリ

祝ト幣 祝ハ祝文ニシテ即祭文ナリ幣ハ幣帛ナリ

添香禮 參列者燒香ヲナスノ禮

望燎位 前記ノ祝ト幣帛ヲ燒棄スル所

盥洗位 祭官ノ手ヲ洗ヒ清ムル所

拜位 禮拜スル場所ナリ

飲福禮 誠ヲ以テ祭ヲナセハ子孫福ヲ享クトノ語アリ即チ飲福トハ祭ヲ了シタル後神酒ヲ享クルヲ云フ



俎ヲ受ケ 俎ハ肴ヲ載スル俎、即チ飲福ヲナシタル後肴ヲ享クルヲ云フ  
俯伏、興、平身 拜禮スルトキノ號令ナリ

籩豆ヲ撤ス 籩豆トハ果物乾魚肉類ヲ盛ル祭器ナリ、之ヲ撤ストハ御供物中之ニ盛リタル分ノミヲ  
一先下グルノ意ナリ

禮饌ヲ撤ス 禮饌トハ御供物ナリ、コレハ祭全ク終了後御供物ノ全部ヲ下グルコトナリ

樽 酒ヲ盛ル器ニシテ詩經ノ圖解ニ象形(或ハ象ノ繪アルモノ)ナルヲ象樽ト云ヒ牛形ナルヲ(又ハ  
牛ノ繪アルヲ)犧樽ト云フトアリ外ニ山巒ト稱スル樽アルモ今用ヒス

樽所 右ノ樽ヲ置ク所ナリコノ樽所ハ各神位別々ニ設ケアリ孔子(又正位)ノ樽所、配位ノ樽所ト  
云フガ如シ

器 右ノ樽ノ蓋ナリ

爵 酒ヲ盛リテ神位ニ供フル杯ナリ

祝版 祭文ヲ載スル板

坩 右ノ祝版ヲ置ク所

醴 齊 酒ナリ象樽ニ盛リテ初獻禮ニ用フ

盎 齊 酒ナリ犧樽ニ盛リテ亞獻禮ニ用フ

清 酒 酒ナリ山巒ニ盛リテ終獻禮ニ用フ

酒ハ清酒ノミヲ用ヒ樽ハ象樽犧樽ノミヲ用フ

### (三) 樂ト舞ノ部

樂器ハ鐘(口ノ直徑五六寸)及玉瓊(不等邊三角形ノ玉石ナリ其ノ底邊一尺内外他ノ兩邊七八寸)各三十一個ヲ架ニ吊リテ打鳴ス其厚各  
異ナルニヨリ其ノ音清濁異ル之ヲ音律ニ合ハシテ以テ樂ヲ作ス外ニ琴、瑟、箏、鼓、大鼓、簫(横笛)  
等アリ

而シテ之ニ和スル歌ハ例ヘバ祭ノ初ニ迎神ノ樂ヲ奏スルガ其ノ文ニ曰ク

大哉先聖 道德尊崇 維<sup>ス</sup>持王化<sup>ヲ</sup> 斯<sup>ノ</sup>民是宗<sup>ヲ</sup> 典禮有<sup>リ</sup>常 精純並隆<sup>ヒ</sup> 神其來格<sup>レ</sup> 於昭聖容<sup>ヲ</sup>  
之レハ凝安之樂ナリ

凝安之樂 迎神送神ニ奏スル樂

成安之樂 獻禮(初、亞、終)ヲ行フトキニ奏スル樂

舒安之樂 初獻禮了リタル後亞獻禮ヲ行フマテノ間ニ奏ス

明安之樂 奠幣禮ノトキ奏ス

娛安之樂 籩豆ヲ撤スルトキニ奏ス

歌文ハ前ニ其ノ一ヲ例示シタレバ他ハ略ス



麾ヲ舉ゲ 麾トハ幟ノ如キモノ之ヲ舉グレバ樂ヲ作シ偃ムレバ樂止ム樂長ノ信號旗ノ如シ  
祝ヲ鼓シ 祝ハ樂器ナリ樂ノ始リニ之ヲ鼓ス四角ノ木製箱ヲ摺小木ノ如キモノニテ打ツ  
敵ヲ憂シ 敵モ樂器ナリ樂ノ終リニ之ヲ憂ス木製ノ虎ノ背上ニ鋸ノ齒ノ如クナシタルアリ竹ヲ以テ  
之ヲ憂ス

書經ニ「合止祝敵」トアリ合ハ始ナリ、止ハ終ナリ祝ト敵トハ樂ノ始リト終リヲ告グルモノナリ  
登歌之樂 此ノ登歌ハ堂上、軒架ハ堂下ノ意ナリ即樂ノ位置ヲ示シタル語ナリ  
軒架之樂 例ヘバ登歌何樂ヲ作ストアレバ上ニテ樂ヲ起シ軒架ニ於テ何樂ヲ作ストアレバ下ニテ樂  
ヲ起スガ如シ

二 舞 文舞武舞ナリ

初獻禮マデハ文舞ヲ舞ヒ亞獻禮以後ハ武舞ヲ舞フ  
文舞ニハ進賢冠ヲ戴キ翟(雉ノ羽)ト籥(笛)ヲ持チテ舞フ翟籥ハ禮樂ノ具ナレバ即チ文事ヲ意味ス  
武舞ニハ皮弁ト稱スル赤キ帽ヲ戴キ干(盾)戚(斧)ヲ持チテ舞フ干戚ハ即チ武事ヲ意味ス

(四) 祭官執事ノ部

獻 官 祭官ナリ初獻禮ヲナスモノヲ初獻官、之ニ準ジテ亞獻官、終獻官アリ  
コノ三獻禮ハ正位ト配位ノミニナスモノナレバ隨テ右ノ三獻官ハ正位ト配位ヲ祭ル祭官ナリ

〔附錄〕 鮮文添附ノ儀式左ニ附録ス

釋奠儀式

一 就位

執禮ガ拜位에就호야四拜호고位에就호○典樂이工人과二舞로帥호고入호야位에就호○參拜人이入  
호야位에就호○大祝以下諸執事가拜位에就호야四拜後手로盥호고位에就호○講士가入호야位에就  
호○獻官이入호야位에就호

總督이諸員을帥호고入호야位에就호

二 四拜

(參列者一同敬禮호,此時에大鼓를鳴호야爲號호)  
掌樂이應를擊호야工이盥을鼓호○軒架(堂下)에서凝安之樂을作호고烈文之舞가作호○樂이二成호  
獻官以下在位者一同이四拜호(先拜者不拜)○樂이三成호○樂이止호

三 奠幣禮

初獻官이手로盥호고孔子神位前에詣호야跪호○登歌(堂上)에서明安之樂을作호고烈文之舞가作호  
○獻官이香을三上호○獻官이幣를奠호○獻官이配位神位前에詣호야香을三上호고幣를奠호○獻官이  
止호○獻官이降호야位에復호



四 初獻禮

初獻官이孔子神位前에詣호야跪호宮○登歌에서成安之樂을作호고烈文之舞가作호宮○獻官이爵을獻호宮○獻官이少退호야跪호宮○樂이止호宮○大祝이神位의右에進跪호야祝을讀호宮○樂이作호宮○獻官이起立호宮○樂이止호宮○獻官이配位神位前에詣호야跪호宮○樂이作호宮○獻官이爵을獻호宮○樂이止호宮○獻官이降호야位에復호宮○文舞가退호고武舞가進호宮○軒架에서舒安之樂을作호宮○樂이止호宮

五 亞獻禮

亞獻官이手를盥호고孔子神位前에詣호야跪호宮○軒架에서成安之樂을作호宮○獻官이爵을獻호宮○獻官이配位神位前에詣호야跪호宮○獻官이爵을獻호宮○樂이止호宮○獻官이降호야位에復호宮

六 終獻禮

終獻官이手를盥호고神位前에詣호야跪호宮○禮를行호고降호야位에復호宮(順序는亞獻禮와同호宮)

七 分獻禮

分獻官이手를盥호고從享位神位前에詣호야跪호宮○分獻官이香을三上호宮○分獻官이爵을獻호宮○分獻官이降호야位에復호宮

八 飲福禮

初獻官이飲福位에詣호야跪호宮○大祝이獻官에卍爵을授호宮○獻官이爵을受호야飲호宮○大祝이俎를授

九 添香禮

總督이添香호宮○參列諸員이順次로添香호宮(但高等官以上)

十四拜

獻官以上講士가四拜호宮

十一 徹籩豆

大祝이入호야籩豆를徹호宮○登歌에서娛安之樂을作호宮○徹을訖호宮○樂이止호宮○軒架에서凝安之樂을作호宮

十二 四拜

參拜者一同敬體호宮、此時에大鼓를鳴호야爲號호宮

十三 望燎

初獻官이望燎位에詣호야立호宮○樂이作호宮○大祝이祝과幣를燎호宮○樂이止호宮

十四 禮畢

總督이諸員을帥호고出호宮○獻官이出호宮○講士가出호宮○大祝以下諸執事가四拜호고出호宮○參拜人이出호宮○典樂이工人과二舞를帥호고出호宮○執禮가四拜호고出호宮○廟司가禮饌을徹호後戶를闔호고出



## 第二 朝鮮經學院ノ沿革

朝鮮ニ於テ主トシテ文廟釋奠ノ事ヲ司レル經學院ノ沿革ハ、本年一月朝鮮總督府ヨリ發布シタル朝鮮教育要覽第十章經學院ノ記事要領ヲ得ルニヨリ、左ニ之ヲ抄録ス。

經學院ハ朝鮮總督監督ノ下ニ經學ヲ講ジ、又廟ヲ祀リ、風教德化ヲ裨益スルノ機關ニシテ、明治四十四年六月經學院規程ヲ發布シ、同年九月之ヲ京城ニ設置シ、舊成均館ヲ以テ之ニ充テタリ。成均館ハ其創立頗ル古ク、尊聖慕賢ノ靈廟、養士育英ノ最高學府トシテ、歷朝深ク之ヲ尊崇シ、連綿今日ニ至レリ。然ルニ教育機關トシテノ成均館ハ、今日其必要ヲ認メザルニ至レルモ、聖賢ノ偉靈ヲ享祀シ、德化ノ普及ヲ圖ルハ更ニ一層緊切ナルモノアルヲ以テ、舊成均館ヲ廢止スルト同時ニ、此ニ經學院ノ設置ヲ見タル所以ナリ。經學院ニハ講士ヲ置キ、朝鮮總督ハ、各道ニ於テ學識德望アル耆宿ヲ擧ゲテ之ニ任ジ、且ツ大提學、副提學、祭酒、司成、直員等ヲ置キ、院務ヲ處理セシム。而シテ我先帝陛下ハ國帑二十五萬圓ヲ賜ヒテ、經學院ノ基金ニ充テシメラレ、其利子ヲ以テ維持ス。經學院設置ニ際シテハ、朝鮮總督ハ特ニ訓令ヲ發シテ、院ノ目的ヲ明ニシ、聖恩ノ優渥ナルヲ傳へ、職員講士ヲシテ、身ヲ以テ隣里鄉黨ノ師表トナリ、一般教化ノ裨補ニ努ムベキヲ諭シタリ。其全文左ノ如シ。

今回經學院ヲ設立シタル趣旨ハ、其規程ノ示スガ如ク、經學ヲ講ジ、文廟ヲ祀リ、教化ヲ裨補セ

シムルニ在リ。之ニ依リ當ニ高德篤行ノ耆宿ヲ優待シ、以テ儒林ヲ尊ビ、碩學ヲ重ンズルノ美風ヲ推奨セムトスルニ止マラス。又進ンデ彝倫ノ扶持、人心ノ啓發ニ資スル所アラシメムトス。其責任重且大ナリト謂フベシ。

惟フニ、孔孟ノ道ニハ、仁義忠孝ヲ主トシ、實踐躬行ヲ尙ブ。後世斯道ヲ唱フル者、往々無爲徒食ニ陥リ、空論橫議ヲ事トスルニ至リタルハ、唯其餘弊ニ過ギザルノミ。今我 天皇陛下國帑二十五萬圓ヲ賜ヒ、經學院ノ基金ニ充テシメラル。聖旨ノ優渥ナル、感謝ニ堪フベケンヤ。其職員並ニ講師タル者ハ徒ニ書ヲ讀ミ祭ヲ司ルヲ以テ足レリトセズ、宜シク身ヲ以テ隣里鄉黨ノ儀表トナリ其弊風ヲ矯正シ、其良俗ヲ助長シ、以テ一般教化ノ裨補ニ努ムルニ於テ遺憾ナキヲ期スベシ。

經學院ハ春秋二季釋奠祭ヲ行ヒ、月次講筵ヲ開キ、經學院雜誌ヲ發刊シ、又講士ヲシテ、地方巡回講演ヲ爲サシムル等、現ニ風教ノ作興ニ努メツ、アリ。



大正八年四月二十一日印刷  
同年同月二十三日發行

# 發行者 孔子祭典會

事務所 (東京市本郷區湯島東京教育博物館(聖堂構内))

東京市小石川區大塚坂下町百十四番地

代表者 嘉納治五郎

東京市神田區美土代町三丁目一番地

印刷者 島連太郎

東京市神田區美土代町三丁目一番地

印刷所 三秀舍



8. 6. 3



372

247



終

